

宇都宮大学に期待すること

－ Mission, Money, Management －

開倫塾

塾長 林 明夫

5月中旬に、OECD(経済協力開発機構)のIMHE(Institutional Management in Higher Education 高等教育管理)プログラムのメンバーの一人として、北京師範大学と西安交通大学で開催された「高等教育機関の経営についての国際会議」に参加した。テーマは、「Mission, Money, Management」であった。現在2000万人の学生がいて毎年100万人ずつその数が増え続ける中国の大学では、「大学の大量化」の中で最大の問題である「大学の教育や研究活動の質」の向上のためのしくみづくりと評価のためのしくみづくりが真正面から議論されていた。社会に対する明確なMission(使命)を大学が持ち続け、強固な財務体質(Money)を構築しながら、Missionに基づく十分な教育や研究活動を展開するための組織(しくみ)づくり、つまりManagementがどのようにできるかが、OECDの経験をふまえて熱心に話し合われた。

宇都宮大学においても、大学の教育と研究におけるMissionつまり社会的使命を明確にした上で、その教育や研究を支えるだけの財政基盤(Money)を構築し、Missionに基づいた教育・研究活動を展開するしくみ(組織)づくりを、学長はじめここにおいでの方の大学幹部の先生方が強力なリーダーシップを発揮されながら行うことを、一県民として期待いたします。

そのための支援活動を、ここにお集まりの皆様と話し合いながら私自身できるだけ行いたく思います。

以上

－ 10月21日東北新幹線内にて記－